

がんとの共存療法求めて

桜町病院臨床試験プロジェクトチームのメンバー。
左端が山崎章郎医師



臨床試験プロジェクトチーム発足

聖ヨハネ会 桜町病院 〈小金井市〉

二人に一人ががんになる今日！緩和ケア医として30年余、2500人もの終末期患者を看取ってきた山崎章郎（ふみお 75）ケアタウン小平クリニック院長も例外でなく、大腸がんの最終段階ステージ4を宣告されて3年半余に。その間、標準治療である抗がん剤治療によるダメージに耐えかね、独自の食事療法などで、自分らしく生きるがんとの共存療法を求めてきた。病巣は増大することなく、がんとの共存状態を維持。その試みのエビデンス（根拠）を求める臨床試験プロジェクトチームが聖ヨハネ会桜町病院（小金井市桜町）で発足、日本財団からも助成金が寄せられることになった。

抗がん剤服用の 耐え難い苦痛から模索

お腹がゴロゴロ鳴る腹鳴（ふくめい）にしばしば悩まされるようになった2018年夏、山崎医師は「大腸がんに違いない。いよいよやってきたか」と。「大腸がんは男性では前立腺がんに次いで多く罹患（2019年）。がんによる年間死亡約38万人（2021年）の第2位を占める。

内視鏡検査と病理検査で、山崎医師はリンパ節に転移がある大腸がんステージ3と診断され、その年11月大腸がんを切除した。

再発予防に経口抗がん剤の服用が始まると、2クール目から吐き気、食欲不振、下痢に加え掌と足裏の皮膚がひび割れ真っ赤に。ボトルのキャップも開けられないほど傷んだ。8クルールの予定だったが、5回目は休み、7回を終えた2019年5月のCT検査の結果は両肺に転移が見られ、ステージ4という無残な結果に。

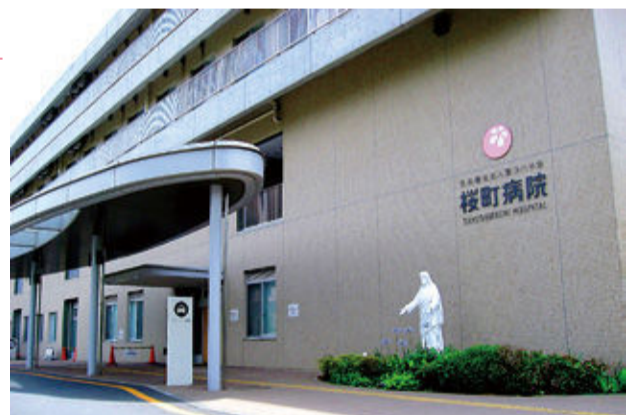
消化器外科医・緩和ケア医 の経験から糖質制限食を

しかし、山崎医師は元々消化器外科医で、がん末期医療の悲惨な実態を『病院で死ぬということ』（主婦の友社刊、1990年）に上梓。エッセイストクラブ賞を受賞し、映画にもなるなど大きな反響を呼んだ。その後、桜町病院からホスピス医に……と誘いを受け、1991年秋からホスピス科部長として14年、緩和ケアを率先してきた。

その後、地域に緩和ケアをと、医療と看護・介護がチームを組んで、「ケアタウン小平クリニック」院長として17年、在宅のがん末期患者を診療してきた。

そうしたキャリアから、抗がん剤は正常な細胞も殺してしまうので、副作用も重い。しかし、がん細胞は糖質がなければ増殖できないと、糖質制限食を試みる。

糖質ゼロの食事なんて……無理ムリと思われるが、コンビニの低糖質のパンにゆで卵をスライスして、フロッコリーを乗せマヨネーズをたっぷり。マヨネーズ



がんとの共存療法を求めて臨床試験プロジェクトチームを発足させた、聖ヨハネ会桜町病院

は低糖質だとか。イウシヤサバ缶でたんぱく源を。そうした糖質制限食などの試みは、山崎医師の近著『ステージ4の緩和ケア医が実践する がんを悪化させない試み』（新潮選書刊）に詳しく記されており、一読を！

抗がん剤治療を選択しない ステージ4の大腸がん対象

今回、がんとの共存療法の臨床試験プロジェクトチームを立ち上げた桜町病院の小林宗光院長は、「標準治療（抗がん剤治療）とホスピスケアの中間期の医療として、取り組みたい」と語る。同病院の生命倫理委員会で審議され、審議に基づいた参加条件を満たすことを前提に立ち上げた。日本財団から助成金も寄せられ画期的なこと！

プロジェクトチームのメンバーは山崎医師を含め医師5人のほか看護師、薬剤師、栄養士、医事課、医療連携室などの多職種で構成される。

臨床試験は、様々な理由で抗がん剤治療を選択したくない74歳までの肺や肝臓に転移のあるステージ4の大腸がん患者対象に実施。

「がん共存療法」と臨床試験について

桜町病院臨床試験プロジェクトチーム

1面からつづく

◇「がん共存療法」とは

「がんが存在しているにもかかわらず、増殖しなれば、すぐに命に関わることはない。がんの増殖を抑制出来れば、がんとの共存は可能である」という基本的な考え方に基づいて、がんを可能な限り増殖させず、無理なく、穏やかに延命効果を目指す治療法を意味しています。



今年6月に発行された山崎章郎医師の近著「ステージ4の緩和ケア医が実践するがんを悪化させない試み」(新潮選書刊)本体1350円(税別)

◇現時点ではエビデンスのない「がん共存療法」

「糖質制限ケトン食」に糖尿病治療薬「メトホルミン」、「ピタミンド」、「EPA(エイコサペンタエン酸)」等を併用した食事療法や食品添加物でもある「クエン酸」の抗がん効果を期待した「クエン酸療法」、さらには抗がん剤開発の現状から見出された「少量抗がん剤治療」を併用した「がん共存療法」は、ステージ4の大腸がん患者でもある山崎章郎医師の個人的な体験に基づいた治療法です(詳細は山崎医

師の著書『ステージ4の緩和ケア医が実践するがんを悪化させない試み』(新潮選書)を参照してください)。
一定の理論に基づいてはおりますが、現時点におけるその臨床効果については、あくまでも山崎医師の個人的体験に過ぎません。

今回、山崎医師より「がん共存療法」についての、エビデンスを確認するための臨床試験の提案があり、聖ヨハネ桜町病院の「生命倫理委員会」にて審議され、審議に基づいた参加条件をすべて満たすことを前提に承認されたため、病院としてプロジェクトチームを立ち上げ臨床試験を開始することになりました。

◇臨床試験について

臨床試験には、新薬の有効性を確かめる「治験」と、一般診療や基礎的医学研究から得られたヒントを、より確かな情報とするために患者さんの協力を得て行われる「自主臨床試験」があります。

「がん共存療法」の臨床試験は、新薬ではなく「がんの代謝特性に基づいた食事療法と、安全性が確認されている既存の薬剤を併用して行われるものになりますので、「治験」ではなく「自主臨床試験」に当てはまります。

さらに、臨床試験には、薬剤の安全性を確認する第I相臨床試験から、第I相臨床試験に基づいて、少数の患者さんに対して効果があるかどうかを確認する第II相臨床試験、さらに現時点で最も効果があると言われている標準治療と、その効果を比較する第III相臨床試験がありますが、「がん共存療法」は既存の薬剤を併用して、その効果を確認するために行われる食事療法ですので、上記の第II相臨床試験に相当することになります。



桜町病院臨床試験プロジェクトチームを立ちあげた聖ヨハネ桜町病院院長の小林宗光院長(左)と山崎章郎医師

さて、本臨床試験は、後記臨床試験への参加条件をすべて満たした方を対象に実施いたします。

なお、臨床試験の参加条件は、先述しましたように桜町病院の「生命倫理委員会」の審議に基づき確定されたものです。

◇「がん共存療法」臨床試験の参加条件

- ①「がん共存療法」の意義や目的を共有できる大腸がん術後の74歳以下の患者さんで、肺や肝臓に転移が認められステージ4と診断された方。
- ②標準治療としての抗がん剤治療を選択したくない方。
- ③肝機能、腎機能が正常な方で、糖尿病が無い方。
- ④自力で通院できる方で、通常の食事のできる方。
- ⑤現在の主治医からの診療情報のある方。
- ⑥「がん共存療法」はエビデンスのない試験的治療であることを了解されない試験的治療であることを了解される方。
- ⑦「がん共存療法」の臨床試験中は、他の「抗がん剤治療」はしない事を約束できる方。
- ⑧副作用に対しては、事前に十分に説明し、万全の対応をいたしますが、

全ての薬物治療同様に、命に関わる様な副作用が起こり得る可能性はある事を了解される方

⑨副作用も含めて病状の変化など本人がプロジェクトチームに連絡できない場合に、その状況を本人に代わって直接連絡できる同居人がいる方。

本臨床試験は上記1〜9までの参加条件を全て満たした患者さん最大32名を対象に実施を予定しています。

◇臨床試験期間と開始時期

本臨床試験は、開始から1年間を予定しておりますが、一定数の参加登録があった場合には、順次臨床試験を開始いたします。

◇費用について

「がん共存療法」で使用する薬剤の中には、がんの適応がないものもあるため基本的には自費診療になります。費用には、診察費、検査費、薬剤費、機材費、その他が含まれます。

ただし、今回の臨床試験は日本財団より助成を受けることが出来たので、臨床試験参加者の皆様のご負担は、かなり軽減可能になりました。

上記を踏まえて、参加者の皆様には、診察時に毎回、5000円のご負担をお願いさせていただきます。

◇臨床試験参加ご希望の方へ

本臨床試験参加ご希望の方は、次の方法で「桜町病院臨床試験プロジェクトチーム」までお申し込み・お問い合わせください。

①桜町病院ホームページ上の「桜町病院臨床試験プロジェクトチーム」のメールアドレスに。

②手紙の方は〒184-8511 東京都小金井市桜町1-2-20 聖ヨハネ桜町病院「桜町病院臨床試験プロジェクトチーム」へ。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

連載「暮らしの中の経済学」は5面に。

在宅ホスピスナーズ募集

ケアタウン小平
訪問看護ステーション



小平市御幸町にある認定NPO法人コミュニティケアリンク東京(理事長山崎章郎)は、同じ敷地内にある在宅専門のケアタウン小平クリニックと緊密なチームを組むことを目的に、訪問看護ステーション、ケアマネジメントセンター、デイサービスセンターを設立。がん末期の方に留まらない在宅ホスピス

緩和ケアに取り組んでいます。今回、6年ぶりにケアタウン小平訪問看護ステーションの正看護師を募集します。
『住み慣れた街で生きて、逝く』地域作りに関心のある方、一歩踏み出してみませんか?
■密なチームワーク
困難な場面があっても密なチームワークでケアするようにしているためか、入職後の定着率は高いことが誇りです。常勤で普通自動車免許取得者。体験も相談可能。詳細は「ケアタウン小平」NPOにて検索を。
運営法人認定NPO法人コミュニティケアリンク東京。事業所名「ケアタウン小平訪問看護ステーション」。東京都小平市御幸町131-5ケアタウン小平内 ☎042-321-5985 事務局(担当:中川)〈PR〉